観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年７月３０日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	公益社団法人　津山市観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 津山市	
所在地	岡山県津山市山下９７番地の１	
設立時期	１９５７年6月2日	
事業年度	４月１日から翌年３月３１日までの１年間	
職員数	５２人【常勤２０人（正職員１６人・出向等４人）、非常勤３２人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 松岡　裕司 （出身組織名） 津山信用金庫	信金中央金庫（旧全国信用金庫連合会）に入社、日本全国・海外勤務を経験し、現在は津山信用金庫理事長。観光協会・津山市・商工会議所の三者が手を携え、同じ目標に向かって進んでいく地域の推進役となっている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー	（氏名） 越　健太郎「専従」 （出身組織名） 株式会社日本旅行（出向）	令和７年４月にＤＭＯ統括マネージャーに着任。ＤＭＯの総括事業責任者としての役割を担う。 日本旅行での勤務経験を活かし、地域における受け入れ環境整備や顧客視点での地域の魅力再発見、魅力創造を通して地域の価値創出と向上に取り組む
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	（氏名） 今村　弘樹「専従」 （出身組織名） 津山市　観光文化部長	令和６年４月専務理事(兼)事務局長に就任。 津山市職員として長年勤務した経験や人的ネットワーク と統率力を生かし、データ収集や分析に高い能力 を持っている。在任中に、観光ビジョン等各種の 計画策定に従事し、専門性を有している。
プロモーション・着地型コンテンツの責任者（専門人材）	（氏名） 西本　孝之「専従」 （出身組織名） バリューマネジメント株式会社（出向）	令和７年４月にＤＭＯマネージャーに着任。観光まちづくり事業や分散型ホテル事業の施設統括の経験を活かし、行政視点、顧客視点の双方向からの価値づくりに従事。主に地域ならではの体験価

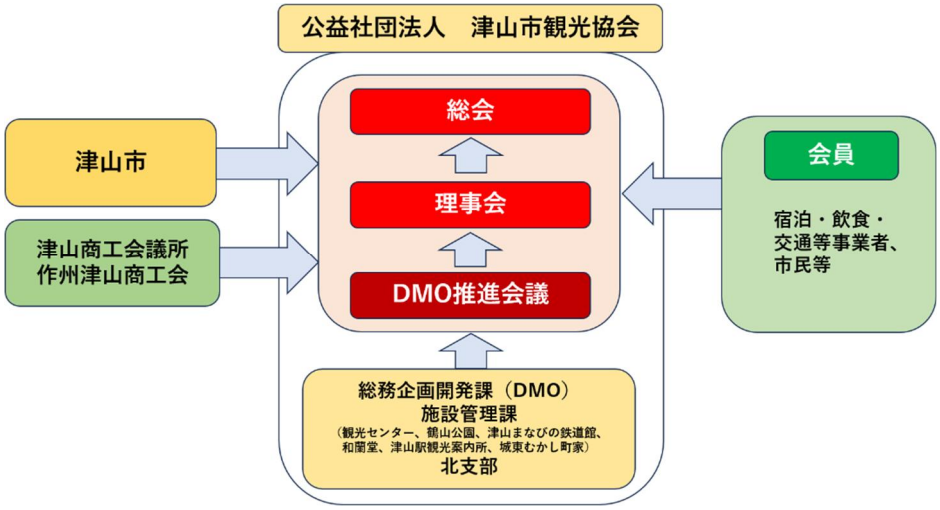
様式１

		値創出を担い、まちの価値掘り起こしを実行する。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	津山市 観光振興課（観光振興施策の実施、マーケティング、プロモーション） 歴史まちづくり推進室（歴史的資源の活用、津山まちじゅう博物館構想） 文化課（文化財保護・活用） みらいビジョン戦略室（企画戦略） 商業・交通政策課（中心市街地活性化・地域公共交通の連携） つやま産業支援センター（商品開発・ビジネス支援の連携・ふるさと納税） ビジネス農林業推進室（農林業ビジネス連携） 農業振興課（農産品流通）	
連携する事業者名及び役割	津山旅館組合（MICE 誘致、KPI の分析） 津山観光ボランティアガイドの会（着地型旅行商品の開発・催行） 津山民芸協会（着地型旅行商品の開発） 津山商工会議所（ふるさと名物の開発） 作州津山商工会（ふるさと名物の開発） 津山菓子組合（ふるさと名物の開発） 津山飲食業組合（ふるさと名物の開発） ＪＡ晴れの国岡山津山支店（ふるさと名物の開発） 岡山県タクシー協会津山支部（域内交通の改善） 地域商社曲辰（農泊事業等での連携） 西日本旅客鉄道株式会社（「津山まなびの鉄道館」の運営委託） 株式会社日本旅行（ふるさと納税返礼品の開発）	
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】①および②に該当 行政、商工団体、事業者等の多様な関係者が参画している「当協会総会」において、年間及び中期的な事業計画の意志決定を行う。 また、「ＤＭＯ事業推進会議」を設置し、ＰＤＣＡサイクルによるより効果的な事業展開を行う仕組みとしている。	
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	地域事業者や商議所等で適宜 DMO の活動報告を行い、また地域のまちづくり協議会等の団体が補助金事業に申請時には、協議会や部会に参加し事業者間の調整や申請のサポート役となり共に取り組んでいる。また、昨年度に引き続きは市が推し進める「津山城下町歴史観光まちづくり推進事業（城泊城下町泊事業)」に際して、事業者や市民向けに意識啓発・理解促進のためのセミナーを予定している。	
法人のこれまでの活動実績	**【活動の概要】** 事業：情報発信・プロモーション 実施概要：・令和６年度事業 1）商談会、物産展、イベントへの参加・出展・シティロゲin 津山（旧津山国際ホテル跡地、現城下スクエア)、「岡山×香川」つながる食の大博覧会（高松市)、ダンボールクラフト anthology【森の芸術祭 FRIEND PROGRAM】、ハレいろキャンペーンイベント、ツーリズム EXPO ジャパン、大阪モノレールの日 晴れの日岡山観光物産展、秋のおかやま桃太郎まつり、寅さんサミット 2024、おかやまマラソン 2024	

		鉄道の日イベント、山陽新幹線ふれあいデー、晴れの国おかやま観光商談会（東京、大阪）、京都鉄道博物館でのＰＲ等 2）ＳＮＳ等を活用した情報発信 ・観光協会公式 LINE の開始 ・観光協会インスタグラム、Ｘ、 3）インバウンド対応 ・台湾国際旅行博への参加、日本の観光・物産展、台湾旅行博ブースへの出展 ・農水省「農泊食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」を活用したインバウンド向け情報発信 ・美作国観光連盟 提案型広域連携事業補助金を活用し「韓国旅行会社を招聘した FAM ツアー」の実施 ・美作国観光連盟 提案型広域連携事業補助金を活用し「米国人インフルエンサー招聘による情報発信事業」を実施。米国人インフルエンサーによる取材と Instagram、TikTok、Facebook ブログで津山の情報発信
	受入環境の整備	・令和６年度事業 1）「特別な体験」事業にて旅行会社と連携した海外富裕層向け旅行商品の造成と販売 2）韓国旅行会社を対象とした県北の観光資源と「森の芸術祭」視察ツアーを実施し、広域周遊旅行商品の造成・販売への取組 3）観光庁等各種補助メニューや助成事業の積極的な活用（中国地方の里山への誘客促進に向けた事業、 4）公園指定管理事業 ・津山城（鶴山公園）、衆楽園、津山まなびの鉄道館、黒木キャンプ場 5）観光イベント・行事共催等 ・津山さくらまつり、牛魔王選手権、津山城もみじまつり 6）津山観光センター、観光案内所の運営 ・ＪＮＴＯ外国人観光案内所として体制整備、加茂インフォメーションセンターの運営 7）レンタサイクルの貸出 ・売店地域特産品の販売 8）観光ボランティアガイドの確保・育成。インバウンド対応研修の実施 9）「津山グルメマップ」の制作（紙媒体、Web 版）
	観光資源の磨き上げ	・令和６年度事業 1）城泊・城下町及び歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業 ・津山まちじゅう博物館構想との連携 ・伝統的な町並みや歴史的文化財の保全 ・地域内経済循環の促進 ・観光セミナーの開催 2）つやま小旅体験プログラム整備事業 ・「城東城西まち歩き」の主催 ・「先達と行くおかげめぐり」のプロモーション及び実施サポート

		・「津山ならでは」の魅力あふれる観光コンテンツ（歴史文化、自然体験、つやま和牛、鉄道文化遺産） 3）デジタルコンテンツ整備事業 ・津山市観光協会公式ホームページをリニューアル、あわせて多言語化 4）地域連携事業 ・各地域の観光資源の情報発信と各種イベントへの協力 ・津山ブランドの構築（エリア全体の知名度と認知度の向上） ・大型イベントやキャンペーンとの連携（森の芸術祭、おかやまハレいろキャンペーン） ・Ｂ’ｚ稲葉浩志さんソロライブでの津山おもてなしプロジェクトへの協力 ・関係機関等との連携 ・広域的な観光地域連携の促進（美作国観光連盟との連携）
	【定量的な評価】	

様式１

実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【実施体制の概要】** ・津山市観光協会は職員５７名。（嘱託職員含む） ・指定管理者であり域内交流拠点である「鶴山公園（津山城）」「津山まなびの鉄道館」や体験コンテンツ等を活用し、回遊性を高め、更なる観光振興を図る方針。 ・当会会員４６０名には、行政、宿泊業者、飲食業者、交通事業者、農業者等多様な関係者が参画しており、合意形成の場となる総会、理事会、ＤＭＯ事業推進会議を通じて、官民が密接に連携した実施体制を構築している。 **【実施体制図】** 

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

〈区域：岡山県津山市〉

【区域設定の考え方】

津山市は岡山県の北部、津山盆地とその周辺から成り立っており、北は鳥取県と接している。
７１３年の美作国の誕生に伴い国府が置かれて以降、江戸時代には森家、松平家によって津山藩の城下町が形成され、大いに発展した。また、幕末には我が国の近代化の礎を築いた箕作氏・宇田川氏に代表される洋学者等を多数輩出し、我が国の近代化の礎となった。また、山陰と山陽をつなぐ交通の要衝であることから、鉄道記念物に認定された「旧津山扇形機関車庫」などの貴重な鉄道遺産も現存し、新たな観光資源の柱に成長している。
このように、本市には１３００年にわたる歴史の中で育まれた、地域固有の歴史と文化、自然、食など、多くの観光資源を有している。
また、平成１７年２月に旧津山市・勝北町・久米町・加茂町・阿波村が合併し、津山市観光協会においても、市域全体を活動区域とし、これらの各エリアの地域の資源や魅力を活かした観光誘客に取り組んでいる。

【観光客の実態等】

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

・津山市の観光動態入込客数

平成３０年　　1,969 千人

令和元年　　1,993 千人
令和２年　　1,480 千人
令和３年　　1,256 千人
令和４年　　1,725 千人
令和５年　　1,881 千人
令和６年　　1,986 千人

・宿泊者数
平成３０年　　201 千人
令和元年　　231 千人
令和２年　　203 千人
令和３年　　232 千人
令和４年　　292 千人
令和５年　　315 千人
令和６年　　310 千人

・一人あたり観光消費額
平成３０年度　　4,339 円
令和元年度　　4,551 円
令和２年度　　5,058 円
令和３年度　　4,154 円
令和４年度　　6,440 円
令和５年度　　9,165 円
令和６年度　　6,697 円

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
※観光資源の活用方法についても記入すること。

ジャンル	観光資源
歴史・文化	●国指定　史跡 美和山古墳群、三成古墳、美作国分寺跡、院庄館跡（小島高徳伝説地）、箕作阮甫旧宅 ●国指定　名勝 旧津山藩別邸庭園（衆楽園） ●重要伝統的建造物群保存地区 城東重要伝統的建造物群保存地区、城西重要伝統的建造物保存地区 ●県指定　重要文化財 旧妹尾銀行林田支店（ＰＯＲＴ　ＡＲＴ＆ＤＥＳＩＧＮ　ＴＳＵＹＡＭＡ） ●県指定　史跡 久米廃寺跡 ●国登録　有形文化財 作州民芸館（旧土居銀行津山支店）、城西浪漫館（旧中島病院本館）、知新館（旧平沼騏一郎別邸）、森本慶三記念館（旧津山基督教図書館）、城東むかし町家（旧梶村家住宅） ●未指定 鶴山館 ●博物館等

		津山郷土博物館、津山洋学資料館、Ｍ＆Ｙ記念館、弥生の里文化財センター、加茂町歴史民俗資料館、勝北歴史民俗資料館、久米歴史民俗資料館、津山城下町歴史館、つやま自然のふしぎ館、作州城東屋敷 ●その他 上田手漉和紙工場、勝北陶芸の里工房
	城	●史跡 津山城（鶴山公園） ●県指定史跡 岩屋城跡、矢筈城跡 ●市指定史跡 嵯峨山城跡、医王山城跡、神楽尾城跡 ●未指定 院庄の構城跡、篠山城跡
	神社・仏閣	●重要文化財 中山神社本殿、本源寺本堂、総社本殿、鶴山八幡宮本殿 ●県指定重要文化財 高野神社本殿、徳守神社社殿、鶴山八幡宮拝殿、釣殿及び神饌所並びに末社薬祖神社、妙法寺本堂、愛染寺鐘楼門及び仁王堂 ●市指定重要文化財 中山神社神門、大隅神社本殿、八出天満宮本殿、白加美神社本殿、愛山東照宮、千代稲荷神社 ●未指定 多聞寺、サムハラ神社、高田神社、萬福寺、作楽神社、福力荒神社、貴布禰神社、広戸神社、石山寺、善應寺、清眼寺、長法寺、聖徳寺、千光寺、軒戸神社、金刀比羅神社、真福寺、千磐神社、八幡神社（阿波地域）、八幡神社（勝北地域）、高福寺、新善光寺、長命山「多寶寺」、岩谷山「妙福寺」、五穀寺、岩滝神社
	鉄道遺産	●転車台 津山まなびの鉄道館（旧津山扇形機関車庫と転車台）、【因美線】美作河井駅手動転車台 ●駅舎 【因美線】美作河井駅、知和駅、美作滝尾駅、三浦駅、【姫新線】美作千代駅、 ●その他 松ボウキ橋梁、ＳＬ「Ｃ１１－８０号」津山駅北口広場、みまさかスローライフ列車（因美線イベント列車）
	自然	布滝、白髪滝、大滝、石山八畳岩、久米川の桜並木、グリーンヒルズ津山のフラワーガーデンと紅葉、津山城もみじの小道、大ヶ山奇岩、大ヶ山鬼の門、トヤの夫婦滝、桐の木水車、ウッドパーク声ヶ屻、吉井川、横野滝、神楽尾公園、神南備山展望台、２２世紀の森、尾所の桜、大高下ふるさと村、大ヶ山、深山渓谷、落合渓谷、広戸仙、塩手池公園、梅の里公園、花と渓流の里公園（小滝）、ホタルの里、とんぼの里

レジャー	阿波森林公園、グリーンヒルズ津山、アイスランド津山、奥津川ラビンの里、勝北マルシェ「ほほえみ彩菜」、勝北総合スポーツ公園、黒木キャンプ場、木もれ陽の森、めぐみ荘、ウッディハウス加茂、阿波交流館・あば温泉、ザランタンあば村（グランピング施設）、道の駅「久米の里」
グルメ	養生喰いに代表される食肉文化、和菓子文化、珈琲、津山小麦、つやま生姜
イベント（観光資源の活用）	（春）梅まつり、津山さくらまつり、津山加茂郷フルマラソン、津山城東むかし町、みまさかスローライフ列車、牛魔王選手権、津山城下町雛めぐり （夏）津山納涼ごんごまつり、勝北サマーフェスティバル in 塩出 （秋）津山まつり、津山城もみじまつり、みまさかスローライフ列車、城西まるごと博物館フェア、 （冬）作州津山鍋まつり、福力荒神社大祭、萬福寺十三参り （年間）「城東・城西まち歩き」…ツアーとしてボランティアガイド付きまち歩き商品として催行中。 「先達といくおかげめぐり」…ツアーとして催行中
人物	稲葉浩志（B'Z のボーカリスト） オダギリジョー（俳優） ウエストランド（お笑いコンビ） 河本準一（芸人） 宇田川玄随（津山に蘭学をもたらした先駆者） 宇田川玄真（蘭学者） 宇田川榕菴（珈琲の当て字をした人物） 箕作阮甫（ペリーが持参したアメリカ大統領親書を翻訳し、ロシア使節プチャーチンの来航時の外交文書の翻訳や交渉に参加） 箕作秋坪（国境交渉のためロシアに派遣され幕末の外交交渉で活躍）

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

様式１

宿泊施設区分（令和６年）

施設数	種別	部屋数	収容人数
2	シティホテル	140	261
8	ビジネスホテル	797	1,135
11	旅館	87	280
2	民宿	28	96
2	公的宿	38	87
3	体験宿泊	146	689

【利便性：区域までの交通、域内交通】

様式１

〇鉄道利用：
　ＪＲ岡山駅からＪＲ津山駅まで（津山線快速列車）・・・・・1 時間 5 分
〇ハイウェイバス：
　大阪駅から津山駅まで（特急、中国自動車道）・・・・・・・2 時間 40 分
　東京から津山まで（夜行バス）・・・・・・・・・・・・・・・9 時間　　（休止）
　新宿から津山まで（夜行バス）・・・・・・・・・・・・・・・9 時間 15 分　（休止）
〇自家用車：
　大阪吹田ＩＣから津山ＩＣまで（中国自動車道）・・・・・・2 時間
　米子ＩＣから院庄ＩＣまで（米子自動車道）・・・・・・・・1 時間
　広島から院庄ＩＣまで（山陽自動車道～中国自動車道）・・・2 時間 30 分

　広島から院庄ＩＣまで（中国自動車道）・・・・・・・・・・2 時間 40 分
　岡山から院庄ＩＣまで（岡山自動車道～中国自動車道）・・・1 時間
　高知ＩＣから院庄ＩＣまで
（高知自動車道～瀬戸中央自動車道～岡山自動車道～中国自動車道）・・3 時間
〇航空機：
　東　京－岡　山・・・・・1 時間 15 分
　札　幌－岡　山・・・・・2 時間
　沖　縄－岡　山・・・・・1 時間 50 分
　台　湾－岡　山・・・・・3 時間 5 分（令和 5 年 3 月 25 日～タイガーエア定期便運行再開）
　ソウル－岡　山・・・・・1 時間 30 分（令和 5 年 10 月 29 日～大韓航空定期便運行再開）
　上　海－岡　山・・・・・2 時間 10 分（令和 5 年 8 月 4 日～中国東方航空定期便運行再開）

【外国人観光客への対応】
・多言語に対応した観光ポータルサイト及び観光パンフレットによる観光情報の提供

・観光及び歴史文化スポットでの多言語音声ガイダンスシステムによるコンテンツ案内の提供（つやま声ナビ）
・Ｗｉ－Ｆｉスポットによる通信環境の提供
・日本政府観光局（ＪＮＴＯ）外国人観光案内所（カテゴリー1）
津山観光センター、津山駅観光案内所

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	「津山市観光動態調査」をもとに集計。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	宿泊施設への「宿泊統計調査」により集計。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	「津山市観光動態調査」をもとに集計。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	「津山市観光動態調査」をもとに集計。
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	公式ＨＰ「津山観光 WEB あ」を活用して実施。
住民満足度	実施せず	実施せず

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

津山市は、岡山県北部の中山間地域に位置し、歴史・文化や生活のつながりが深いまちである。人口は減少傾向にあり、特に若者の社会減が顕著となっていることから、地域内循環型の産業によって雇用を生み出すための仕組み作りを進めているが、典型的な中山間地域であり、地勢的にも恵まれているとはいえない当地域にとって、観光は地域経済の発展に重要な役割を果たしている。
しかしながら、津山市は通過型の観光地となっており、観光を稼げる産業としていくためには、滞在型による宿泊客を増加させる必要がある。その一環として、津山市が推し進める「まちじゅう博物館構想」の一事業として取り組む「津山城下町歴史観光まちづくり推進事業」は、域内の財産である城や城下町等の文化財を保存から活用に転換し、消費額の拡大をはかる事業である。
そこで、地域資源を磨き上げ、連結させることで、インバウンドを見据えた新たな観光サービスを創出する。そして、地域ならではの体験プログラムや誘客促進に取り組むとともに、その推進母体となるＤＭＯを中心として、地域資源のマネジメントや、需要のマーケティングを行いながら、地域ならではの着地型の観光地を目指し、地域と連携して、交流人口を増加させ、地域に賑わいと稼ぐ力を創出していくこととしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響

様式１

内部環境	強み（Strengths） ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？ ・津山城を中心とする城下町のまち並み（城東・城西２つの重伝建地区）、歴史的資源が豊富。 ・津山まなびの鉄道館の扇形機関車庫の鉄道遺産認定によって注目を集める鉄道資源。 ・ボランティアガイド、鉄道ＯＢ会等観光施策を下支えする観光参画予備軍が存在。 ・地域に根差した古くからの牛肉食文化 （農水省 SAVOR JAPAN の認定地域） ・歴史、桜、鉄道、郷土出身の著名アーティストなどコアなファンを要する観光コンテンツの存在。	弱み（Weaknesses） ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？ ・認知認識の不足 県内外における観光エリアとしての認識が不足している。 ・人口減少が続き、地域を支える人材が不足している。 ・町屋等の一部で老巧化が進み、建物の保全、立替が必要になってきている。 ・通過型の観光が主であり、宿泊を伴う観光客の滞在時間を延ばす取組が不足している。 ・本市観光の魅力についての情報発信不足。
外部環境	機会（Opportunity） ・自地域にとって追い風となる要素は何か？ ・津山を中心に県北で開催される国際芸術祭「森の芸術祭　晴れの国岡山」（２０２４年９月～１１月） ・「２０２５年大阪・関西万博」の開催 （大阪から日帰りや１泊等ショートトリップで行けるエリア） ・寺巡りやまち歩き等インバウンドを対象とした日本文化体験も取り揃えている。	脅威（Threat） ・自地域にとって逆風となる要素は何か？ ・誘客にかかる国内や県内有力観光地との競合激化 ・地域の公共交通の利便性が低く、満足度を引き下げる要因となっている。

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第１ターゲットエリア
岡山県内および関西圏を含む隣接県

○選定の理由
・津山市への交通手段は自家用車が圧倒的に多い中、来訪者の在住地は岡山県内に次いで、近隣県である関西圏・中国エリアからのシニア層の比率が高いことから、岡山県内および関西圏を含む隣接県をターゲットとする。令和５年度の観光動態調査でアンケート調査を実施したところ、岡山県内41.0%、兵庫県 12.8%　大阪府 7.8%　広島 8.2%の割合であったため選定。

○取組方針
・市内駐車場の利便性向上や観光ピーク時の渋滞緩和策の実施が重要であり、また、知名度を向上させていくといった、エリア別の戦略的プロモーションを実施する。
また、分析結果に基づいてターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。

○ターゲット層
F1 層(女子旅需要)、F2～3 層（ミドルシニア、アクティブシニア、時間的余裕がある世代）

○選定の理由 ・旅行への意欲が高く、また、食、歴史などの関心も高い。津山の食文化（肉料理）や歴史（出雲街道沿い城下町エリア）とマッチする。 ・令和 5 年度観光動態調査においてF1 層が 13.7%であり、F2 層は 30.8%と高かったことからこれまでのF1 層、F3 層に加えて選定。 ○取組方針 ・ＳＮＳ、ＨＰを活用したプロモーション活動の強化。 ・体験型商品による誘客促進。
○ターゲット層 ・訪日外国人（特に台湾、ほか、中国・韓国・香港、および欧米豪の個人旅行者）
○選定の理由 ・本市は城下町に数多く残る歴史的な町並みや自然資源など、インバウンド観光客の関心を惹く観光資源が豊富に存在することから、訪日外国人の誘客に取り組む。令和 5 年度の岡山県外国人旅行者宿泊者数統計では台湾旅行客の割合が 23%と最も多く、次いで中国 16%、欧米合算計 19%と増加傾向のために選定した。 また、昨年度映像コンテンツを活用した海外情報発信事業の採択により、英語・仏語版の津山の農泊や各種体験・食事を紹介した動画を作成・配信した経緯と、2024 年秋の「晴れの国おかやま　森の芸術祭」2025 年「大阪・関西万博」の開催を控え、欧米豪の個人旅行者もターゲットとしている。 ○取組方針 ・岡山空港発着の訪日外国人は、現在、台湾が中心であり、今後も更なる増加が見込まれる。併せて、中国（上海）、韓国（仁川）への定期便も昨年度半ばにコロナ禍から約 3.4 年振りに再開され、今後の増加が見込まれる。 ・「城下町」、「鉄道文化遺産」、「牛肉食文化」など、本市ならではの観光資源をフォーカスしたプロモーションを実施するとともに、ＨＰの多言語化やスマートフォン等を用いた主要施設でのガイダンスシステムの提供等、受入れ体制の整備を強化する。 ・台湾鉄道施設同士の連携強化への取組み（台湾彰化県彰化市「彰化扇形車庫」）

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	※他地域と明確に区別できる特徴・価値等を来訪者に伝える表現を簡潔に設定すること。 歴史・文化を見て・触れて・体験出来る多くのほんものに出会える街　つやま
②コンセプトの考え方	・出雲街道の中心に位置する津山には、津山城（鶴山公園）、城東の街並みなど歴史的にも文化的にも多くのほんものの魅力溢れる資源が感じられる街である。また、伝統を引き継ぎ続ける肉文化、鉄道記念物に指定された旧津山扇形機関車庫と転車台を有する津山まなびの鉄道館など魅力的なコンテンツも豊富である。 ・津山を見て、触れて、体験出来るコンテンツを提供するため、滞在型観光商品の造成やプロモーション活動を通じ、津山の魅力を１人でも多くのお客様にお越しいただくとともに、地域の「稼ぐ力」を創出する。

様式１

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	・理事会（５月、１１月、３月の年３回実施予定） ・ＤＭＯ事業推進会議（５月、８月、１２月の年３回実施） ・総会（６月、年１回実施）
	・行政のほか、観光協会の理事、会員、域内各業界団体など、地域の関連事業者を集めて、それぞれ年間1～４回程度設け、事業内容等の共有や事業者に対してのコンサルティング等を実施。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	・本法人の活動計画と活動内容は、マーケティング調査やアンケートから得られたデータを通じてＤＭＯ事業推進会議にて、評価を頂く仕組みとしている。 ・ＤＭＯで実施するマーケティング活動で得られたデータ等は、観光協会の総会や理事会でフィードバックし、観光消費の増加のための企画や商品造成の磨き上げを行う。 ・持続可能な観光を希望する世界の旅行者が増えていることを踏まえ、津山市のブランディングと国際競争力の向上を目指す。その取り組みとして、**日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）のロゴマーク認証**を取得を目指し（令和７年度前期）、持続可能性を重視する国内外の旅行者に選ばれる観光地となるよう努める。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	・津山市観光振興課と常時定例ミーティングを行うとともに連携してＳＮＳ、ホームページ等で情報発信をしている。 また、ＪＲ西日本岡山支社（Ｘ）「くまなくたびにゃん」とも連携し、地域のイベント等様々な情報発信を行っている。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（1 人あたり／円）	目標	6,000	6,500	6,700	6,900	7,100	7,300
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	6,440	9,165	6,697			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	230	290	330	330	330	330
		(0.6)	(1.2)	(3.5)	(3.5)	(3.5)	(3.5)
	実績	292	315	309			
		(0.8)	(3.1)	(4.7)			
●来訪者満足度（%）	目標	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	82.1	88.4	84.5			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●リピーター率（%）	目標	65.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	56.1	45.6	54.9			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
・令和５年度津山市観光動態調査のデータを参考に、来訪者満足度、リピーター率に関するデータを調査し、持続性のある観光地経営のための定性的な効果も含めて把握するため「まち・ひと・しごと創成総合戦略」の考え方を踏まえ、本法人の事業戦略に基づく目標値を検討。
・ＤＭＯ事業推進会議などを通して、地域関係者と連携を図りながら、各種調査の分析結果を共有し、津山市での検証も参考に、理事会意見を通して、計画値の見直しを図っていく。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
・令和５年度の観光動態調査１人あたり旅行消費額の数値をベースに、一定程度の成果がでていることから 200 円/年ずつ増やしていく。

●延べ宿泊者数
・（国内）令和４年度は新型コロナウィルス感染症の影響が残ったものの、ビジネス需要の回復と全国旅行支援も追い風となり大幅な回復となった。更に令和５年度には３年に及ぶコロナ禍の自粛ムードが解禁となり更なる増加となった。令和６年度は、秋に約２か月間岡山県北部にて『森の芸術祭晴れの国・岡山』が開催され、津山では市内 10 か所が展示会場となることから宿泊者数も増加した。

・（海外）令和４年度は入国制限など新型コロナウィルス感染症の影響はあったが、国内同様に大幅増となった。令和５年度も国自体がコロナ禍明けの大幅なインバウンド需要の回復となったが、当地においても岡山空港台湾直行便の回復により前年比 3.8 倍と大幅増となった。岡山空港発国際定期便も台湾に続き、昨年度上海便、ソウル便が再開となり、当地においても受入態勢の整備と情報発信等により更なるインバウンド需要の獲得に注力したい。

●来訪者満足度
・令和元年の調査結果より、来訪者の満足度が高い水準にある為、引き続き現状維持を目指した活動を行う。

●リピーター率
・従来より、リピーター率が高い傾向にあったが、令和４年度より調査時期をＧＷ期間中に変更した結果、関西方面等県外からの新規来訪者層が増えたため、リピーター率は下がる結果となった。
今後も、城・城下町や牛肉食文化、地元の各種情報を発信し多くの新規来訪者の獲得に努めるべく、リピーター率は下方修正する。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●ウェブアクセス数（千回）	目標	2,000	1,500	1,500	1,500	1,800	2,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	1.218	1,192	期中にシステム変更のため集計不可			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●立ち寄り箇所数（箇所）	目標	2.2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	2.0	1.4	1.6			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●平均滞在時間（時間）	目標	37.0	3.90	4.00	4.20	4.20	4.20
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	3.90	4.2	3.7			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●鶴山公園来園者数（千人）	目標	150	180	180	180	180	180
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	240	181	193			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●津山まなびの鉄道館来館者数（千人）	目標	40	55	60	65	70	72
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	58	55	71			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
・「津山ブランド」の情報発信と来訪者の受入体制を強化することが重要課題であると考えており、今後事業展開を予定している「(着地型）旅行業」を契機に、来訪者の増加を狙うべく計測指標とした。

【設定にあたっての考え方】
●ウェブサイトアクセスユーザー数
お客様の情報収集手法が、インスタグラム、Ｘ、Facebook 等ＳＮＳの方の比重が高くなっているが、観光協会は、今年度公式ホームページの全面改修・多言語化に取り組み、ユーザーにわかりやすく情報更新も迅速に対応できる仕様に改修予定であり、今回の改修を機に目標を上方修正した。

●立寄り箇所数
令和６年度はコロナ前水準「2.0」箇所を目指す。

●平均滞在時間（日帰り客）
令和６年度以降「4.0」時間の伸長を目指す。

●鶴山公園来園者数（指定管理施設）
令和５年度は、令和４年度の「春の津山さくらまつり」の桜の開花時期が早まり、４年度に傾斜した結果の影響が生じた。６年度も桜の開花時期如何により集客が次年度へ移行となることも想定される。

●津山まなびの鉄道館（運営施設）
令和５年度は新型コロナウィルス感染症の影響が若干残ったが、コロナ前の水準に戻った。次年度以降各種イベント等の開催や誘客活動の強化により上方修正した。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	273,593,157（円）	【会費収入】 5,790,000（円） 【指定管理収入】 19,851,148（円） 【その他事業収入】 175,215,099（円） （うち市からの受託料収入） 41,399,220（円） 【受取地方公共団体補助金】 69,259,709（円） 【その他の収入】 3,477,201（円）
2023（Ｒ５）年度	228,923,902（円）	【会費収入】 5,672,500（円） 【指定管理収入】 26,875,027（円） 【その他事業収入】 130,636,403（円） （うち市からの受託料収入） 12,704,856（円） 【受取地方公共団体補助金】 62,022,981（円） 【その他の収入】 3,716,991（円）

様式１

2024（Ｒ６） 年度	283,518,497 （円）	【会費収入】 5,520,000（円） 【指定管理収入】 24,584,000（円） 【その他事業収入】 163,408,326（円） （うち市からの受託料収入） 21,353,300（円） 【受取地方公共団体補助金】 86,173,397（円） 【その他の収入】 3,832,774（円）
2025（Ｒ７） 年度	204,000,000 （円）	【会費収入】 6,000,000（円） 【指定管理収入】 27,000,000（円） 【その他事業収入】 112,500,000（円） （うち市からの受託料収入） 17,000,000（円） 【受取地方公共団体補助金】 55,000,000（円） 【その他の収入】 3,500,000（円）
2026（Ｒ８） 年度	204,000,000（円）	【会費収入】 6,000,000（円） 【指定管理収入】 27,000,000（円） 【その他事業収入】 112,500,000（円） （うち市からの受託料収入） 17,000,000（円） 【受取地方公共団体補助金】 55,000,000（円） 【その他の収入】 3,500,000（円）
2027（Ｒ９） 年度	204,000,000（円）	【会費収入】 6,000,000（円） 【指定管理収入】 27,000,000（円） 【その他事業収入】 112,500,000（円） （うち市からの受託料収入） 17,000,000（円） 【受取地方公共団体補助金】 55,000,000（円） 【その他の収入】 3,500,000（円）

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４） 年度	250,954,904 （円）	公益【観光振興事業】 74,286,771（円） 【誘客受入対策事業】 39,380,880（円） 【公園・キャンプ場等管理事業】 84,499,930（円） 収益【販売事業】 20,337,573（円） 【施設管理事業】 26,309,583（円） 法人【管理費】 6,140,167（円）
2023（Ｒ５） 年度	224,723,417 （円）	公益【観光振興事業】 68,829,438（円） 【誘客受入対策事業】 18,152,557（円） 【公園・キャンプ場等管理事業】 84,449,244（円） 収益【販売事業】 19,217,174（円） 【施設管理事業】 27,270,838（円） 法人【管理費】 6,804,166（円）

2024（Ｒ６） 年度	279,287,317 （円）	公益【観光振興事業】 98,844,826（円） 【誘客受入対策事業】 19,522359（円） 【公園・キャンプ場等管理事業】 88,914,936（円） 収益【販売事業】 22,908,301（円） 【施設管理事業】 41,672,074（円） 法人【管理費】 7,424,821（円）
2025（Ｒ７） 年度	201,500,000 （円）	公益【観光振興事業】 65,000,000（円） 【誘客受入対策事業】 15,000,000（円） 【公園・キャンプ場等管理事業】 75,500,000（円） 収益【販売事業】 20,000,000（円） 【施設管理事業】 2,000,000（円） 法人【管理費】 6,000,000（円）
2026（Ｒ８） 年度	201,500,000（円）	公益【観光振興事業】 65,000,000（円） 【誘客受入対策事業】 15,000,000（円） 【公園・キャンプ場等管理事業】 75,500,000（円） 収益【販売事業】 20,000,000（円） 【施設管理事業】 20,000,000（円） 法人【管理費】 6,000,000（円）
2027（Ｒ９） 年度	201,500,000（円）	公益【観光振興事業】 65,000,000（円） 【誘客受入対策事業】 15,000,000（円） 【公園・キャンプ場等管理事業】 75,500,000（円） 収益【販売事業】 20,000,000（円） 【施設管理事業】 20,000,000（円） 法人【管理費】 6,000,000（円）

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

・ＤＭＯ事業計画及び予算計画に基づく津山市からの補助金予算の拡充
・指定管理業（物販含む）、旅行業（滞在型観光プログラム）等の積極的な推進
・ＤＭＯ活動の成果を基にした新規会員の獲得
・国の地方創生関連補助金、各種公募案件の獲得による事業基盤強化
・地域金融機関との連携強化（津山信用金庫、中国銀行等）

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

津山市は、公益社団法人津山市観光協会を当該地域を対象とした地域ＤＭＯとして引き続き登録したいので、ともに申請いたします。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】
重複しない

【区域が重複する背景】

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	越　健太郎
担当部署名（役職）	ＤＭＯ統括マネージャー（兼）事務局次長
郵便番号	708-8501
所在地	岡山県津山市山下 97-1
電話番号（直通）	0868-22-3310
ＦＡＸ番号	
Ｅ－ｍａｉｌ	k.koshii@tsuyamakan.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	岡山県津山市
担当者氏名	小林　貴之
担当部署名（役職）	観光文化部　次長（兼）観光振興課　課長
郵便番号	708-8501
所在地	岡山県津山市山北 663　津山市役所東庁舎 3 階
電話番号（直通）	0868-32-2082
ＦＡＸ番号	0868-32-2154
Ｅ－ｍａｉｌ	kankou@city.tsuyama.lg.jp

（候補／登録）【登録区分】（DMO名称）

様式2

記入日：　令和7年7月30日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
　岡山県津山市
【設立時期】　1957年6月2日
【設立経緯】
③区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】　松岡　裕司
【マーケティング責任者（CMO）】　越　健太郎
【財務責任者（CFO）】　今村　弘樹
【職員数】　52人（常勤20人（正職員16人・出向等4人）、非常勤32人）
【主な収入】
　収益事業　188百万円、委託事業　90百万円（令和6年度決算）
【総支出】
　事業費　272百万円、一般管理費　7百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
　津山市及び周辺市町村、各観光関連団体及び事業者

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（1人あたり/円）	目標	6,000（　）	6,500（　）	6,700（　）	6,900（　）	7,100（　）	7,300（　）
	実績	6,440（　）	9,165（　）	6,697（　）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	230（0.6）	290（1.2）	330（3.5）	330（3.5）	330（3.5）	330（3.5）
	実績	292（0.8）	315（3.1）	309（4.7）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	88.0（　）	88.0（　）	88.0（　）	88.0（　）	88.0（　）	88.0（　）
	実績	82.1（　）	88.4（　）	84.5（　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	65.0（　）	60.0（　）	50.0（　）	50.0（　）	50.0（　）	50.0（　）
	実績	56.1（　）	45.6（　）	54.9（　）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
・岡山県内および関西を含む隣接県（エリア）
・F1層（女子旅需要）、F2、3層（ミドルシニア、アクティブシニア層）
・訪日外国人（台湾、韓国、欧米豪）

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・津山市基本戦略「津山まちじゅう博物館構想」と連動した「津山城下町歴史観光まちづくり推進事業」実現

【観光地域づくりのコンセプト】
「歴史・文化を見て・触れて・体験できる多くのほんものに出会える街　つやま」

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・観光庁「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業」及び「地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業」にて、津岡山県北エリアへのインバウンド誘客拡大に取組む。

【受入環境整備】
・「城東・城西まちあるき」実施、「先達と行くおかげめぐり」サポート

【情報発信・プロモーション】
・WEBサイト「津山観光WEB」リニューアルによる多言語発信強化
・SNSを活用した情報発信強化
観光協会Instagram、X、公式LINE
・SAVOR JAPAN認定による牛肉食文化・地域情報の発信